

KEYFIガバナンストークンをベースにした データベース、AIサポートDeFi Aggregator

2020年12月2日時点

Identity components powered by

© KeyFi Issuer LLC 2020

索引

索引1

概要: DeFiアグリゲーションの簡素化2

KeyFi.com:収益率の最大化、リスクの最小化3

機能の概要3ポートフォリオリランサー3 一般的なコンポーネントアーキテクチャ4 SelfKeyクレデンシャルの統合5

KEYFIトークン6

トークン機能6 初期配布6 トークン報酬7

分散型ガバナンス8

その他のKeyFi固有のガバナンス機能8 分散化ロードマップ9 フェーズ1:9 フェーズ2 9

要約10

1

Motivation: DeFiは複雑です！！

現在、多くの先進国は銀行預金者が規制金融機関の経常口座にほぼゼロに近い、マイナスの利子を期待できる環境で運営されています。

ただし、伝統的な金融産業の以外にもDeFiと呼ばれる代替的な分散金融市場が生きています。伝統的な銀行が預金に最大1%の支払いに対して困っているときに、DeFi及び暗号貨幣のローンブ

プラットフォーム(一部は規制されているが、一部は規制されていない)は、ステーブルコインの預金に対して8~12% APY、またはそれ以上のAPYが提供できます。

これに対して提供される莫大なリワードにもかかわらずDeFiにはリスクと複雑性が少なくない代わりに、莫大なリワードを提供します。多くのユーザーが複数のプラットフォームを通じてDeFiエコシステムと相互作用し、リスク回避を試みます。

しかし、収益を最大化し、リスクを最小化するためにポジションを設定、追跡、クローズすることは簡単な作業ではありません。資産ポートフォリオのリバランス、複数のリスクベクトルの回避、ガス価格、プラットフォーム使用料、スリッページ、変動損失、その他の多くの要因をまとめると、上級ユーザーでさえDeFiからの利回りを一貫して使用および実現することが困難になる場合があります。

また、多くのDeFiはユーザーのプライバシーを優先的に保護するために設計されており、規制当局はまだDeFiプロジェクトに対して公開的に行動していないが、将来変化する可能性があります。分散ネットワークの金融環境全般にわたって規制遵守を可能にするアイデンティティと資格ソリューションが差し迫った必要性を感じています。しかし、ユーザーのプライバシーを犠牲にした規制は最善の解決策ではありません。

そのため、DeFiの将来の成功のために、コミュニティはDeFiの進化を、ユーザーのプライバシーを尊重し続ける規制に準拠したエコシステムに向けて推進する必要があると考えています

2

概要:DeFiアグリゲーションの簡素化

KeyFi.comは、Compound、Aave、Uniswapなどの複数のDeFiプラットフォームを集約する便利なインターフェイスをユーザーに提供すると同時に、AIを利用した資産リバランス機能を提供することを目的としています。ユーザーは外部データソースの集約と統計分析により、最適な選択とリバランス戦略を簡単に決定できます。

さらに、KeyFi.comはSelfKeyクレデンシャルと統合され、プラットフォームを使用するためのKEYFIトークンでユーザーに報酬を与えます。SelfKeyクレデンシャルの統合により、基本的にDeFiプラットフォームを規制に準拠するように準備し、個人データの共有を最小限に抑えることができます。

また、これらのDeFiクレデンシャルを他のプラットフォームで再利用して、複数のDeFiプラットフォームで使用されるセルフソブリンIDを広く採用することも可能です。

KeyFi.com: 収益率の最大化、リスクの最小化

機能の概要

- データと分析とともに複数のDeFiプラットフォームをシンプルなダッシュボードに集約するためのDeFiツールです。
- 大規模な履歴データセットでトレーニングされたAIを利用した予測金利最大化により、リスク許容度と自動リバランスを構成します。
- 一連のデータ・ポイントに基づいて、レートはずれ、プラットフォームの流動性、ガスのコストを計算し、アラートを受信します。
- KEYFIガバナンストークンを使用して、達成報酬を獲得し、意思決定に貢献します。

ポートフォリオリ balanser

KeyFiは、複数のトランザクションのバッチ処理を可能にする一連のプロキシスマートコントラクトに依存しているため、ユーザーは各トランザクションを個別に実行しなくても、複雑な資産管理操作を実行できます。これらのプロキシ契約は、資産所有者に代わって資金を保有することなく、ユーザーが具体的な資産管理戦略を可能にすることができます。

3

さらに、ユーザーが独自の資産管理戦略を決定する際に役立つ貴重な情報を提供するために、複数のデータソースが集約されています。

要約すると:

- データAPIは最大収益率のプラットフォームの比較を表示します。
- レートはステーブルコインをフィルタリングするためのオプションと共に、資産およびプラットフォームごとに構成されます。
- ユーザーは、リバランスを手動で制御できます。
- A.I.は将来のレートの予測分割を提供します。
- リバランス取引のガスのコストを自動的に推定します。
- 潜在的な金利低下を推定します。(特に大規模な預金の場合)

報酬

KEYFIトークンは、KeyFi.com プラットフォームの分散型ガバナンスのためのメカニズムを提供します。SelfKeyクレデンシャルを保持している該当のユーザーは、流動性を提供するか、ステーキングすることによってKeyFiプラットフォームに貢献すると、KEYFIトークンを受け取ります。

Pro アカウント

Proアカウントのティアは、無料アカウントが提供する基本機能に加えて、ユーザーは拡張データと高度な分析に加えて無制限のアラートにアクセスできます。Proアカウントは、オンチェーン購読のクレデンシャルを使用して、アクセスを制限することができます。

必要なクレデンシャル

アプリの特定の部分にアクセスするには、有効なSelfKeyクレデンシャルが必要です。これには、プロキシ契約およびKEYFIトークン報酬コントラクトへのアクセスが含まれます。

4

一般的なコンポーネントアーキテクチャ

SelfKeyクレデンシャルの統合

KeyFiは規制遵守のためのフレームワークを提供すると同時に、ユーザーの個人情報の保護と自己主権を保護するためにSelfKeyプラットフォームと統合されています。SelfKeyを使用すると、ユーザーはSelfKeyプラットフォームの信頼できる認証者から検証可能なSelfKey資格を申請して受け取ることができます。

SelfKeyクレデンシャルプラットフォームは、ユーザーのクレデンシャルを検証したい企業や組織に意図しないユーザー情報を開示することなく、選択的な開示とスマートコントラクトの証明を備えた検証可能なクレデンシャルのフレームワークを提供します。これらの企業または組織は「信頼機関」と呼ばれます。

5

クレデンシャルの発行と交換のフロー

SelfKeyエコシステムでKeyFiは、SelfKeyの認証者ネットワークとそのIDプロトコルを信頼します。

将来のある時点で(例: 仲裁や紛争中)特定のデータを検証する必要がある場合は、データの整合性とID所有者との関係を暗号化し、検証できます。

KEYFI トークン

プラットフォームの利用を奨励し、分散型ガバナンスの基盤を提供する手段として、次の条件を満たすユーザーはKEYFIトークンの対象となる可能性があります。

- 有効なSelfKeyクレデンシャルを持っている
- 選択したトークンに流動性を提供する
- KeyFi報酬プールコントラクトに他の承認されたトークンをステーキングする

6

トークンの特徴

KEYFIトークンは、KeyFiプラットフォーム上で投票機能を備えたERC20トークンです。分散型ガバナンスを通じて、KEYFI保有者は、報酬メカニズムを有効にするためにミント（minter）アドレスを設定することもできます。2年が経過するまで、新しいトークンを鑄造することはできません。

初期配布

10,000,000 KEYFIのプールが最初に鑄造され、次のように自動的に割り当てられます。

- 1,000,000 →トレジャリー（Treasury）（2年以上の既存の）継続的に経費を賄う
- 1,000,000 → チーム（2年以上の既存の）中核メンバーにインセンティブを支給
- 8,000,000 → プラットフォームのユーザーへの報酬（おおよその報酬の配布期間は現在2年として計算されている）

○ トークンステーキングと流動性プールのインセンティブー最初は、トークンステーキングとKeyFi流動性プールマイニングは、プラットフォーム上で2つのインセンティブを与えられた活動にすぎません。これら2つに分割された報酬プールの割合は次のようになります。流動性マイニング-報酬プール全体の50%。

KEYトークンステーキング-報酬プール全体の20%。

○ プロキシ契約ープロキシ契約は、ユーザーに提案されているもう1つの報酬ソースです。導入されると、ユーザーはプロキシ契約を利用して複数のトランザクションをバッチとして送信できます。総報酬プールの20%は、プロキシ契約の使用報酬を促進するために割り当てられる場合があります。このプールとすべてのプールは、特定のプラットフォーム/ユースケースのエアドロップにも使用できます。

ガバナンス報酬ーKEYFIトークン所有者は、プロジェクトに関する主要なパラメータを提案して投票できます。ユーザーは、ガバナンス投票に参加したことに対しても報酬が与えられます。総報酬プールの10%は、分散投票に参加しているユーザーに報酬を与えるために割り当てられる場合があります。

報酬プール契約には、最初の数か月間は乗数付きのボーナス期間がある場合があります。

7

トークン報酬

最初の供給の大半は、以下のようなプラットフォームで、さまざまなインセンティブの活動への貢献に比例して、ブロック当たり定められた量のトークンを利害関係者に分配する報酬プールコントラクトに割り当てられます。

- 流動性マイニング
- KEYトークンステーキング
- プロキシコントラクトの活用
- ガバナンス投票への参加

許可されたトークンのセットと配布の速度は、分散型ガバナンスを通じて変更可能なパラメータです。

プロトコルの供給が固定されている3年間の初期報酬期間の後、報酬プール契約は、さまざまな流動性プールにインセンティブを与え続けるために、構成可能なインフレ率(最初は2%に設定)で新しいトークンの作成を開始できます。ただし、コミュニティガバナンスは、トークンの追加の鑄造を無効にするか、異なるインフレ率を定義するか、または異なる分配論理を持つ新しい報酬契約に移行するかを決定できます。

分散型ガバナンス

許可されたトークンセットと配布速度は、分散型ガバナンスを通じて修正できるパラメータです。プロトコルの供給が固定された3年の最初の補償期間が経過すると、報酬プール契約は異なる流動性プールのインセンティブを提供し続けるために構成可能なインフレ率(最初は2%で設定)で新しいトークンを鑄造することができます。しかし、コミュニティガバナンスは、トークンの追加造幣を無効にするか、異なるインフレ率を定義するか、異なる分配論理を持つ新たな報酬契約に移行するかを決定する可能性があります。

- 投票権はKEYFIウォレットから直接計算されます。
- ガバナンスコントラクトには、次のことを行う権限があります。

8

○ KEYFIコントラクトでのトークンの鑄造—コミュニティによって決定された場合、ミントー(Minter)アドレスを0に設定することもできます

- 報酬プールコントラクトのパラメータを設定
 - 報酬率(ブロック当たり割り当てられたトークン)
 - 許可された流動性プール/ペアおよびステーキングトークン
 - 許可された各ステーキングトークンの割り当ての重み

その他のKeyFi固有のガバナンス機能

弊社はユーザーがKeyFiの機能とサービスを完璧に制御できるように、コミュニティ向けの完全な分散化を提供します。したがって、KEYFIトークン所有者は、KeyFiアプリで次の作業を行うことができます。

- 資産の追加／削除
- プラットフォームの追加／削除
- データ統合の追加／削除
- ウォレット統合の追加／削除
- その他の機能を提案(例: 清算ダッシュボード、裁定取引モニターなど)

分散型ロードマップ

分散型は、一連のマイルストーンまたはフェーズで達成されます。フェーズ1では、KEYFIトークン所有者コミュニティがKEYFIトークンとKeyFiアプリに関連する事項に投票できるよう

になり、フェーズ2では、オンチェーンで執行可能なコミュニティの決定が含まれます。

フェーズ1:

- 透明性のため: トークンコントラクトを配布し、トークンを鑄造して割り当て、管理キーをマルチシング (multisig) タイムロックコントラクトにすぐに転送するスマートコントラクトによってミントの配布が処理されます。
- 報酬プール契約の場合、管理キーは開発中にチームによって直接保持され、その後、リリース日にマルチシングタイムロックに転送されます。

9

- **スナップショット**は、トークン所有者が提案を行って投票できるように開始時に設定されますが、開発チームは(管理者キーを通じて)オンチェーンで変更を実施する必要があります。

フェーズ2

フェーズ2では、単純な投票モジュールを備えたアップグレード可能なガバナンス (DAO) 契約 (Gnosis Proxy) が展開され、タイムロックマルチシング契約に置き換わり、ガバナンス可能な契約を完全に分散制御できるようになると予想されます。

Gnosis Safeアーキテクチャは、時間内にアップグレードできるように設計されているため、ガバナンス契約はそれ自体をアップグレードして、今では予想できない新しいガバナンス機能、または高度な投票メカニズム (例: 流動的な民主主義、2次投票など) を実装できます。

フェーズ3

まだ設計の過程にあるフェーズ3では、KeyFiプラットフォームを構成する主要コンポーネント (データ API、AI戦略、プロキシ契約など) の分散化だけではなく、開発プロセス自体を分散化させ、KeyFiがネットワークにある多くのアクターのうち、1つとして残り、プラットフォームの完全な制御権を付与することになるでしょう。KEYFITトークンは、この最後のフェーズを活性化するのに、中核的な役割を果たします。

要約

KeyFiは、他のDeFiプラットフォームと比較すると、馴染みがあり、ユニークです。よく知られているように、それは基本トークンを通して分散化ガバナンスインセンティブメカニズムを提供し、特定ペアリングに流動性を提供することで報奨を受け取ることができます。ユニークなことは、KeyFi.comは他のプラットフォームとは異なり、個人情報保護し、自己主権デジタルIDクレデンシャルを活用しながら規制コンプライアンスを遂行することのできる経路を持っています。最後に、データとA.I. エンジン は独自のものであり、通常はこのタイプのデータや機械学習を自由に利用できない小規模なユーザーに利点をもたらす可能性があります。これはほんの始まりに過ぎません。KeyFiプラットフォームは、世界中のDeFiユーザーのサポートにより、機能と分散化の両方で成長し続ける可能性があります。

